

1月の園便り



「よじほん
よじほん」

31年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

赤ばら2組の阿部つきはちゃんのお母さんから教えていただいたことです。

つきはが何気なく「♪たけのこいっぽんお〜く〜れ♪」と歌い出したので、赤ばらさんの遊びの再現かなと思って聞いていたら、「ママ、たけのこってね、さらさらして、ふわふわしておふとんみたいできもちかった（気持ちよかった）んだよ!」と目を輝かせて、本当に生き生きと、春に祖父とたけのこ堀をした時のことを語りだしたのです。実はタケノコを掘った当時は「たけのこあったよ〜」という報告のみで、あまり興味がなさそうだったのです。でもそれから数か月たって言葉の力が伸びたのか、ふわふわでサラサラだった皮の感触を教えてくださいました。

そして、ちょうど同じ時期、5年生になったみゆうと雨上がりの道を歩いていた時です。

大きな水たまりを見たみゆうが「あ! クジラ! ここがピューっとなるところで、ここが…」と独り言のように話していました。特に立ち止まることもなく、指をさして解説するわけでもなく、本当に一瞬で通り過ぎてしまったのですが、幼稚園で培われた見立ての力がまだまだ健在のようで嬉しかったです。この二つのエピソードですが、正直、私にとっては筍の皮も水たまりも「不要なもの」です。でも、子どもたちはその魅力にきちんと気づける力があって、ポジティブでこんな風に世界を感じられる子どもたちを羨ましいと思いました。

子どもたちが幼児期に出会ったことは、子どもたちの心の中にしまい込まれてしまうので、どんな影響を受けていたのか、私たち大人にはなかなか知る機会がないのです。

ですから、大人は幼児期の経験など“たいしたことはない”と思っている人が多いです。

でも本当は、幼児期にどんな環境にいてどんなものに出会いどんな経験をしてきたのか、その影響は大きいのですけれどね…何度も書いているので省きますが…

12月の園便りに載せたアドヴェントの庭の記憶が思春期にふっと表されたことと同じように、たけのこ掘りをした時の感触を数か月後に言葉に表したつきはちゃん、そして5年生のお姉ちゃんの心に見立ての力、想像力がきちんと刻まれていたことも、今回教えていただいて、幼児期の体験は、やはり心にしっかりと残っていることを思いました。“筍は硬い”という印象ですが、つきはちゃんは、さらさら・ふわふわ・おふとんみたいできもちかったと表現しています。物を見て触れて正確に感じていることを思います。幼児期の感性ってなんて素敵なんでしょう。子どもたちは「本質を感じる力」を持っていますね、このことを覚えておいて、子どもたちに「どんな感じがする?」とか「これは柔らかいね」「これは硬いね」などと聞き出そうとしたり、答えを誘導したりすることは避けたいことです…子どもの心の中から出てくる本当の言葉を待ちたいです。自分の感動を言葉にする時がいつか来るし、言葉で表現しなくても、心にはきちんと残っていて、その子どもの価値観を作っていくのですから。

1月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	火	/	/		
2	水	/	/		
3	木	/	/		
4	金	/	/		
5	土	/	/		
6	日	/	/		
7	月	/	/		
8	火	×	11:30	第三学期始業式です。	
9	水	×	11:30	お餅つきの会です。降園時間が早いですが、よろしくお願いいたします。	
10	木	○	2:00	本日から給食が始まります。	
11	金	○	2:00		
12	土	/	/	第2土曜日	
13	日	/	/		
14	月	/	/	成人の日	
15	火	○	2:00		
16	水	×	11:30	誕生会、1月生まれさんの保護者の皆様、ご一緒にお祝いしましょう。	
17	木	○	2:00		
18	金	○	2:00		
19	土	/	/		
20	日	/	/		
21	月	○	2:00		
22	火	○	2:00		
23	水	○	2:00		
24	木	○	2:00		
25	金	○	2:00		
26	土	/	/	第4土曜日	
27	日	/	/		
28	月	○	2:00		
29	火	○	2:00		
30	水	○	2:00		
31	木	○	2:00		